

銚子は地層の博物館 ～銚子ジオパーク構想～

野平匡邦^{1*}, 伊豆尋子¹, 安藤生大¹
NOHIRA, Masakuni^{1*}, IZU, Hiroko¹, ANDOU, Takao¹

¹ 銚子ジオパーク推進協議会

銚子市は、平成22年度に地域資源の価値を市民全体で共有し、銚子のナンバーワン、オンリーワンとしての魅力を備えた「銚子資産」を全国に発信し、地域振興に活用するために、銚子の歴史、文化、風土、自然、景観、産業などの地域に根差した資源の価値について学ぶ事業を「銚子学」と位置付け、事業展開を始めた。

銚子市は、全国屈指の水揚げ量を誇る銚子漁港や江戸時代からの歴史と伝統の醤油醸造業、海洋性の温暖な気候を利用したキャベツをはじめとする農業などの産業を含めて、銚子で生活する人々は、地質や地形がもたらす「銚子の風土」を上手に利用し、その恩恵を享受して生活してきた。また、関東平野の最東端に位置し、三方を水に囲まれた独特の地形である、利根川河口から、黒生、君ヶ浜、犬吠埼、長崎、屏風ヶ浦に至る海岸線は、岩礁や砂浜、岬、断崖絶壁など変化に富んだ雄大な景観を生み出だしている。

銚子の魅力である「銚子資産」は、すべて大地に深く結びついているといえる。

銚子では、中生代ジュラ紀から白亜紀、そして新第三紀から第四紀にいたる多種多様な堆積構造が露出し、観察できる場所である。また、アンモナイトやトリゴニアなどの中生代の化石をはじめとして各時代の化石が産出するなど、「地層の博物館」といえる地域である。また、中生代ジュラ紀の「黒生チャート」や「古銅輝石安山岩」をはじめとする火山岩の産出など学術上、日本列島形成を考える上での重要な基礎資料である岩体も露出し、観察できる。

本州のほぼ中央部に位置する千葉県の北東部に位置する銚子市は、東京からは約100km、成田国際空港のある成田市からは約50kmの圏内にある場所で、地球の躍動感溢れ活動をまじかで見ることができる場所である。

銚子市は、「ジオパーク構想」を推進し、「元気ある、活力ある銚子への再生」に向けた地域づくりを行うことを目的として日本ジオパークへの立候補をする。